


## 2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」（概要）

（令和3年12月24日発表）

## ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

2月～	<b>① 新型コロナウイルス感染症への対応</b> <b>《国に意見書提出、補正予算を先議など》</b>
<p>令和3年6月定例会議において、新型コロナウイルスへの対応に関する意見書を全会一致で可決し、議長から国関係機関等に提出しました。</p> <p>2月、6月、9月定例会議のほか、1月、5月、8月、9月には緊急会議を開催し、全員協議会において随時県当局の対策等を確認しながら、提出された新型コロナウイルス感染症に関する関連補正予算14件を迅速に審議・可決しました。</p> <p>なお、2月、6月、9月定例会議では、感染拡大防止に向けた取り組みを速やかに実行できるよう関連補正予算の先議を行いました。</p>	
	
<p>新型コロナウイルスに関する 補正予算可決</p>	

## ～独自の政策提言と政策立案の強化～

1月～	<b>② 「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続</b> <b>《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》</b>
<p>さまざまな差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査・検討を行うため、令和2年5月に「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>令和2年に実施した調査や参考人招致を踏まえ、本年は10月までに16回会議を開催し、差別解消に向けた課題等に係る各委員の意見の整理、差別解消に向けた条例の在り方の方向性等に係る委員間討議、条例案素案の検討等を実施しました。</p> <p>引き続き、条例案の策定に向けて取り組んでいきます。</p>	
	
<p>委員間討議</p>	

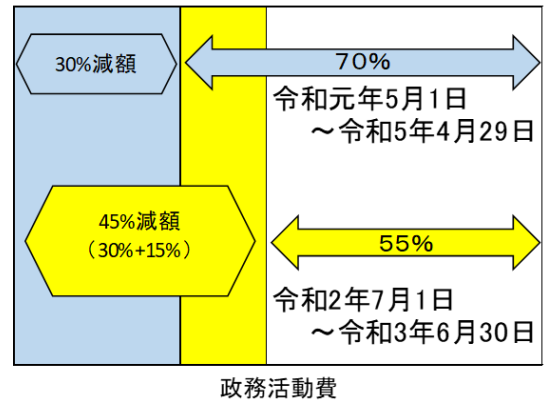
3月	<b>③ 議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決 《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》</b>
<p>三重県産材の利用を促進していくための条例の制定に向けて調査および検討を行うため、令和2年1月に「三重県産材利用促進に関する条例検討会」を設置しました。</p> <p>木材利用に関わる関係者からの聴き取りや県内調査などを踏まえて検討を進め、本年3月に条例案を提出し、同月に「三重の木づかい条例」が可決・成立しました。</p> <p>条例では、県産材の利用を最も優先することを掲げ、木材利用の推進に関して、基本理念や関係主体の責務、県の取り組みなどについて定めています。</p>	



本会議において議案説明

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

1月～6月	<b>④ 政務活動費の減額《45%減額》</b>
<p>新型コロナウイルス感染症対策の推進に資するため、政務活動費を減額しました。</p> <p>その内容は、令和元年5月から令和5年4月までの間、既に30%減額しているところに加えて、令和2年7月から令和3年6月までの間、更に15%減額を上乗せし、計45%減額するものです。</p> <p>この政務活動費の減額は、令和2年6月30日、議員提出議案として本会議に提出し、同日可決しました。</p>	



5月	<b>⑤「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決</b> <b>《現在の定数51人から48人に》</b>
----	--

令和2年10月に提出された「選挙区及び定数に関する在り方調査会」の報告書等を踏まえ、地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、本年4月に議員提出議案として「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数の数に関する条例の一部を改正する条例案」を提出し、5月11日、可決しました。

改正内容については次のとおりです。

- 定数を51人から48人とする
- 伊勢市選挙区と鳥羽市選挙区を合区し、伊勢市・鳥羽市選挙区とする（定数4人）
- 尾鷲市・北牟婁郡選挙区と熊野市・南牟婁郡選挙区を合区し、東紀州選挙区とする（定数3人）
- 伊賀市選挙区の定数を3人から2人とする  
なお、この条例は、次の一般選挙から施行することとしています。



出典：みえ県議会新聞

令和3年度（2021年度）NO.1

制作：伊勢新聞社

～その他～

3月	<b>⑥ 三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催</b> <b>《伊勢茶の魅力を発信》</b>
----	---

3月5日、伊勢茶の振興に寄与するため、三重県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、議会と三重県茶業会議所が共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催しました。


おいしい伊勢茶の淹れ方を学ぶとともに、飯南高校美術部の生徒によるお茶ラテのラテアートの実演を通じて新たな伊勢茶の楽しみ方を知るなど、伊勢茶の魅力を確認しました。


なお、県の緊急警戒宣言発令中でもあり、検温や消毒など、新型コロナウイルス感染症に関する感染防止対策を徹底した上での開催となりました。




高校生によるお茶ラテアートの実演



3月	⑦ 「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置 《議会のスマート化に向け、検討を始める》
<p>3月31日、議会のスマート化について検討するため、議会改革推進会議役員会において「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>10月までに6回会議を開催し、「三重県議会貸与タブレット型端末機使用基準」をはじめとしたタブレットの運用について検討を行ったほか、実際にWeb形式で会議を開催して課題を検証するなど、議会のスマート化に向けて検討を行っています。</p>	
	
Web会議	

3月	⑧ 全議員にタブレットを配付《タブレット勉強会を実施》
<p>3月23日、議会のスマート化に資するため全議員にタブレット端末を配付しました。</p> <p>なお、7月13日には、全ての議員がタブレットを活用できるよう「議会改革推進会議」が主催となり、議員向けに操作説明会を実施しました。</p>	
	
タブレット操作説明会	

6月	⑨ 「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置 《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》
<p>6月28日、三重県議会議員の政治倫理に関する検討を行うため、議会改革推進会議役員会において「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>10月までに3回会議を開催し、議員によるSNS上での書込みに関する代表者会議での議論の経緯や他県議会の状況等を共有し、三重県議会議員の政治倫理に関する条例の運用に向けての検討を行っています。</p>	
	
三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議	

1月～

⑩ 新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催  
《補正予算を可決》

新型コロナウイルス感染症等に対応するため、1月29日から9月22日にかけて緊急会議を7回開催しました。

新型コロナウイルス感染症への対応では、医療提供体制の整備や事業者への時短要請等に伴う協力金等に関する補正予算（累計約430億円）を審議・可決しました。

また、5月の第2回緊急会議では、豚熱の防疫措置等に関する補正予算（約7億円）を審議・可決するとともに、8月の第5回緊急会議では、三重県知事選挙等の実施に関する補正予算（約9億円）を審議・可決しました。



第7回緊急会議